

✧ 海外ニュース ✧

アメリカ 2020年11月16日 Streetsblog

■ 連邦政府、飲酒運転防止技術の開発を支援

Feds to (Finally) Explore Drunk Driving Prevention Tech

国家道路交通安全局（NHTSA）は、車内の空気から運転手の呼吸に含まれるアルコールを検知できる車載センサーの開発を支援した。この技術を利用すると、運転手の酒気帯びの有無を確認するために、運転手がチューブに息を吐く必要はなくなる。また類似の装置では、運転手の皮膚に光を当てただけで、皮膚に含まれるアルコールを検知できる。

ドイツ（チェコ） 2020年11月23日 Verkehrsrundschau オンライン版

■ チェコ、2021年よりトラック通行料に環境対策等費用を上乗せ

Tschechien bezieht 2021 externe Kosten in Lkw-Maut ein

2021年より、大型車の騒音公害や環境汚染で生じる外部費用もトラック通行料に加算される。運送業界はかなりの値上げが起これと予測している。

イタリア（イギリス） 2020年11月23日 Repubblica オンライン版

■ イギリス、ガソリン税等の減少を見据えて、道路利用課金導入の動き

Gran Bretagna, una tassa per usare le strade

リシ・スナック財務大臣は、車両のGPSによって得られる情報を活用し、実際の走行距離に基づいた、すべての利用者を対象とした道路利用課金制度の導入に向けて検討中である。ガソリンとディーゼル燃料の販売収入は年間300億ポンド（330億ユーロ）であるが、これに相当する税収損失を補うことを目的としている。電気自動車等の車両は免除される。

このニュースは『タイムズ』紙で報じられたが、道路利用課金制度の導入は差し迫っていないとしている。なお、同大臣がこの考えに「非常に興味を持っている」と明言したことは記載している。

イタリア 2020年11月23日 Repubblica オンライン版

■ ストラダ・デイ・パルキ社、「橋梁の劣化と、不十分な保安全管理」への経営責任を問われ、約2700万ユーロが徴収される

Strada dei parchi, "degrado dei viadotti e mancata manutenzione": indagati i vertici e sequestrati quasi 27 milioni di euro

検察官は、公共供給契約違反などの犯罪に当たると訴えている。同社が通常の保安全管理の義務を尊重せず、輸送の安全性を無視し、継続的に不正な職務を行ったとしている。

調査は、テラーモ県内の高速道路A24号線とA25号線にある高架橋9カ所を対象に行われた。

ストラダ・デイ・パルキ社は9月末に書簡で質問に応じており、「通常の使用状態では、個々の橋梁等の健全性や安全性に問題はない。構造物を注意深く監視し、四半期ごとに基準に準拠した定期点検を行っている」と答えラクイラ県を安心させたが、現実はそうでなかった。

スペイン 2020年11月23日 CincoDías オンライン版

■ フェロビアル、米国の高速道路 I-77 号線へ 7000 万ユーロを投資し出資比率を 65%に引上げ

Ferrovial invierte 70 millones para subir al 65% en la autopista estadounidense I-77

フェロビアルグループは、ノースカロライナ州の州間高速道路 I-77 号線に増資した。すでに過半数の 50.1% の株主であったが、15%を取得（評価額 7770 万ドル、約 6570 万ユーロ）し 65.1%となった。

イタリア（スイス）2020年11月24日 Repubblica オンライン版

■ 車にリネンの服を着せる

Metti un abito di lino all'automobile

スイス Bcomp 社では、炭素繊維によく似ており原料に植物を使用した『Amplitex』と呼ばれる材料を採用した。環境にやさしいだけでなく、さらに多くの利点がある。

Amplitex は、炭素繊維と比較して同等の剛性と重量を誇りながら、製造時の CO₂ 排出量を 75%削減でき（1 m²あたり約 45.6 kg に対して 16.9 kg の CO₂）、安価（コストは約 30%減である）。

この技術は、すでにレーシングカーから公道用市販車に利用が広がりつつあることから、同社は 2021 年中に生産を開始する予定である。

アメリカ（カナダ）2020年11月24日 Tolling Point

■ バンクーバー、都市部における乗り物への利用課金を検討

New Interest in Tolling as UK Seeks New Revenue, Vancouver Studies Mobility Pricing”

バンクーバー議会では、気候変動緊急対策の「ゲームチェンジャー」要素の1つとして、空間に制約のある混雑した都心部で乗り物への利用課金を検討することに同意した。

気候変動対応政策と迅速な脱炭素化がますます重要視されるようになったことから、料金徴収の新しい機会が生まれている。

ドイツ（オーストリア）2020年11月26日 Verkehrsrundschau オンライン版

■ チロル州、2021年より Euro 6トラックの夜間走行を禁止

Tirol verbietet ab 2021 Nachtfahrten mit Euro-6-Lkw

2021年1月1日より、チロル州インターール地域のアウトバーン 12 号線の一部で、有害物質排ガス基準 Euro 6 に該当する重量トラックも夜間の走行が禁止される。7.5 トン超のトラックに対するチロル州の走行禁止は、原則として5月1日～10月31日の平日では22時～5時、日祝日では23時～5時に適用され、また11月1日～4月30日の平日では20時からの適用となる。電気や水素燃料を動力とするトラックは、この規制の対象にならない。

ドイツ（オランダ）2020年11月27日 Spiegel オンライン版

■ 自動取締機で運転中のスマホ操作を見つける

Blitzer erkennt Handy am Steuer

運転中にちょっと携帯電話をチェックする。こうした行動を防ぐため、オランダの警察は新たな自動取締機の利用を試行している。この取締機では車のナンバーと車両内の状況の2つを記録する。赤外線撮影を行う特殊なカメラが使われ、専用の認証ソフトウェアが用いられる。なお、個人情報保護法に違反する恐れがあるため、顔認

証は行わない。オランダでは現在、運転中のスマホ操作が発見された場合には 240 ユーロの罰金が課されている。

ドイツ 2020 年 11 月 27 日 Verkehrs Rundschau オンライン版

■ オランダの企業団体、ドイツのトラック通行料に対し返金請求を呼びかける

Niederländer organisieren Rückforderungen der deutschen Lkw-Maut

オランダの運送・ロジスティクス協会 (TLN) は、国内すべての道路貨物運送会社に向け、ドイツで過払い (2017 ~ 2020 年) したトラック通行料について返金請求をするよう呼びかけている。この 4 年ほどで、オランダの企業は 2200 万ユーロを余分に支払っていると、TLN は推計している。

2020 年 10 月 28 日、欧州司法裁判所はドイツのトラック通行料の額は EU 法違反だと判断している。ドイツの通行料には、交通警察の費用も算入しているが、EU 法では運営とインフラの費用のみが認められている。

イギリス 2020 年 11 月 25 日 Highways News

■ BT がコネクテッドカー向けの「世界で最も安全なネットワーク」を試用

BT trialling "world's most secure network" for connected cars

BT は、5G とコネクテッドカー向けの量子暗号によりセキュリティが強化された「端末間での暗号化通信」に関する世界で初めてとなる実験の一環として、ケンブリッジを拠点とするスタートアップの Nu-Quantum 社やその他の研究機関と協力していることを発表した。

イギリス 2020 年 11 月 26 日 Highways News

■ 「世界的にユニークな」自動運転試験センターが完成間近

Globally unique" AV test centre nears completion

堀場製作所のグループ企業である、イギリスの試験場『HORIBA MIRA』の説明によると、自動車業界、政策立案者、政府による自動運転車技術の開発に向けて特別に設計された「世界的にユニークな」場である ASSURED CAV が完成間近となっている。同施設は市場への発売公表前に、公道で発生するさまざまな事態に対応できるという。

スペイン 2020 年 11 月 30 日 CincoDías オンライン版

■ フェロビアル、花形高速道路のトロント 407 号線の道路幅員を最大限に拡張

Ferrovial exprime la capacidad de extensión de su autopista estrella, la 407 de Toronto

トロント 407 号線では、新たな車線 33 km が開通し、拡幅された車線は延長 600 km に達する。

運営会社が自由に料金を改定する一方で、交通量を一定水準に維持できたことに加え、交通量に応じて料金が決定されるシステムで利用者は右肩上がりに増加したことから、同路線は卓越したコンセッション事業となった。フェロビアルは、43.23% を保持する 2 番目の株主であり、その可能性を最大限に活用しようとしている (CCPI ファンドが 50.01%、SNC Lavalin が 6.76% を保有)。

スペイン 2020 年 12 月 2 日 Abertis

■ アベルティス、イーモーヴィスを通じ、プエルトリコとカタールで革新的な新規交通管理プロジェクトを受注

Abertis, a través de Emovis, gana nuevos proyectos de gestión innovadora del tráfico en Puerto Rico y Qatar

フリーフロー料金徴収を専門とするアベルティスの子会社である Emovis 社が、プエルトリコの 2 つの高速道

路で、動的価格設定システムの契約を落札した。これは交通を改善し、事故や汚染を減らすための先駆的なシステムである。この落札は、先日のバージニア州でのエリザベス川横断道路のコンセッションの買収に続く、米国市場での新たな1歩となる。

またEmovis社は、中東での最初の契約案件となるドーハ（カタール）での都市部料金徴収運用契約を落札した。

イギリス（フランス） 2020年12月3日 Reuters

■ フランスの有料道路の利用料金、引き上げ率が過去20年で最低に（消息筋の話）

French toll road prices to rise at lowest rate in 20 years – sources

この問題に詳しい複数の消息筋によると、2021年の有料道路の利用料金は、平均0.37%上昇する見込みである。物価上昇率が低かったことから、過去20年間で最低の上昇幅である。価格変動は、高速道路事業者と政府との契約条件に基づいており、消費者物価指数などに応じて変動する。

イギリス（欧州） 2020年12月3日 ITS International

■ カプシュがフォードと連携

Kapsch TrafficCom gets on board with Ford

カプシュ・トラフィックコムは、欧州での料金徴収業務を強化するため、フォードと提携した。

カプシュの『Tolltickets』で、フォードの顧客はマーケットプレイス機能を介した有料サービスに接続できる。この契約は、料金徴収と交通管理という中核事業領域を、料金徴収サービスと需要管理の世界に拡大するという同社の新たな戦略を反映している。

フランス 2020年12月7日 LeFigaro

■ ヴァンシ、チェコ共和国のD4高速道路のPPP契約の優先交渉者に指名される

VINCI désigné attributaire pressenti du contrat de PPP de l'autoroute D 4 en République tchèque

ヴァンシとメリディウム（Meridiam）による持分折半出資の合弁企業は、チェコ共和国運輸省より、プルシーブラム（中央ボヘミア州）からピーセク（南ボヘミア州）をつなぐD4高速道路の官民パートナーシップ契約の優先交渉者に指名された。28年間（約4年間の建設作業を含む）の契約で、165億チェコ・コルナ（約6億ユーロ）の契約案件である。

設計と建設はユーロピア（ヴァンシ子会社）のチェコの系列会社である、ユーロピアCSが行う。ユーロピアは、1992年からチェコ共和国で事業を行っており、3,000人以上を雇用し、チェコにおける交通インフラ建設の主要企業のひとつとなっている。

イギリス（ブラジル） 2020年12月8日 World Highways

■ 論争的になっているブラジルの高速道路建設プロジェクト

Controversial Brazilian highway project

ブラジル政府は、アマゾンの熱帯雨林を通る新しい高速道路路線の建設計画を提案している。

152 kmに及ぶ道路は、ブラジルとペルーの輸送路線を改善し、両国間の貿易が発展すると期待されている。環境保護の観点だけでなく、地域の先住民への対応も議論の対象となるであろう。